

## 第6学年 社会科学学習指導案

### 1. 単元名「大陸に学んだ国づくり」

### 2. 単元目標

我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目し、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べてまとめる。我が国の主な事象を捉えて、我が国の歴史を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現できるようにする。そのことを通して、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を手がかりに天皇を中心とした政治が確立されたことを理解できるようにする。単元全体のつながりを意識した学習問題を追求、解決しようとする態度を養う。

### 3. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、必要な情報を読み取り、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見だし、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営について考え表現している。	①大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営について、予想や学習計画を立てたり、見通したりして、主体的に学習問題を追求し、解決しようとしている。
②調べたことを年表や文などにまとめ、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解している。	②大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営を関連づけたり、総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。	

### 4. 単元について

本単元は歴史単元の2つ目の大単元である。前単元では、縄文時代や弥生時代の狩猟採集生活から、米の伝来により、少しずつ定住が始まり、集落→村→くにづくりへという流れになる。王たちが治める「くに」では、古墳と呼ばれる墓が中国からきた渡来人たちの力を借りて作られた。本単元は、前単元の渡来人の技術に頼るつながりから始められる。天皇を中心としたくにづくりに向け、皇帝を中心にしたくにづくりをした唐から、政治制度と文化を吸収していったことを学習する単元である。日本の歴史の中では、村からくにに向かい、中央集権国家を目指して、歩み始める単元である。つまり、明治維新から戦前の近代史にもつながり、今の日本の形にも少なからず影響を与える、日本のくにづくりの原型にもなる時代を扱う単元である。

児童は、一つ一つの学習問題を解決することで、大陸に学んだ飛鳥時代のくにづくりについて学んでいく。単元を通した学習問題を意識することで、見通しをもって学習を行うようにする。1時間1時間の学習問題を解決していくことが、単元全体を通した課題を解決していくためにつながっていることを意識できるように指導計画を立てた。

## 5. 研究テーマに迫るために

研究テーマ

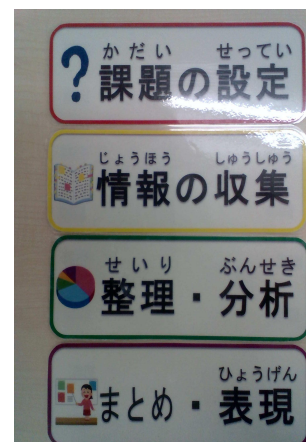
自ら学ぶ力と豊かな心を育てる情報教育をめざして  
～情報活用能力を育てる授業デザイン～

今回の研究では、一昨年度、川崎市立小学校情報教育研究会にあった学習過程プロジェクトの考えを大切に取り組んでいる。学習過程プロジェクトでは、探究的な学びとして、総合的な学習の時間でも意識されている、学びのサイクルをどのように構築していくのかを研究した。学びのサイクルとは「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」、そして次の課題設定へつながっていく流れを意識し、つながりのある学習計画を立てることである。これからの時代を担っていく子どもたちが、自分自身でその時々の課題に気づき、学び続け、成長し続けていく過程を大切にしながら、研究テーマに迫っていききたい。

### 【学習過程を意識した授業計画】

どの教科でも、自分たちで問いを立て、自分で計画を立て学び続ける力を付けていくために、学習の過程を子供たち自身が意識することが大切になってくる。4月から、学習過程を意識できるよう、黒板に今どの段階かを明示した。また、子供たちが想像図から「課題を設定」し、解決のために資料から「情報を集め」、集めた情報が課題解決にどのようにつながるか「比較・整理・分析」をし、グループ内でお互いの意見を組み合わせながらまとめて発表するという一連の流れを意識した授業計画で学習を進めている。

子供たちが学習過程を意識し、指示を待つことなく、それぞれの段階で課題解決のために今は何をすべきかをはっきりさせ、進んで生き生きと学び続けていく力の育成を図りたい。



### 【一人一台PC端末環境と思考ツールの活用】

本校は、令和3年5月より一人一台PC端末の活用が始まった。社会科や理科の学習を中心に「情報収集」「整理分析」を行う学習場面では、瞬時に情報を共有できるJamboardというGoogleアプリを活用した。Jamboardを使って学習するときには、集まった情報を比較したり整理したりして分析する力を育成していくことが大切であると考えている。

今回の研究では、集めた情報から言えることを表現するだけでなく、見比べ、必要に応じて組み合わせたり、取捨選択したり、得たものからどのようなことが言えるのかを分析し、まとめにつなげていく力の育成を重点的に取り組んでいきたい。そのために、思考ツールを援用し、視覚的に情報の整理・分析が行えるようにしてきた。本時では、今までの学習の流れを活かして、児童自身が思考ツールを選び、協働的に学習する姿を狙っている。

### 【日常における情報活用能力の育成】

一人一台端末を効果的に活用するためには、PCの操作スキルやタイピング技能が必須能力となる。そのために、授業で使うだけでなく係活動・委員会活動など、様々な教育場面でGIGA端末を活用するようになってきた。特に、タイピング技能を向上させるためにインターネット上のキーボード練習ソフトウェアである「キーボー島」を活用した。

## 6. 指導計画(8時間扱い)

時	学習活動	指導上の留意点(・)と 評価基準【 】
---	------	------------------------

<p>①本時 ②</p>	<p>○遣唐使について調べ、日本が長い期間にわたって使節を送った理由を考え、学習問題をつくることで、学習の見通しをもつ。</p>	<p>・資料から読み取ったことを共有したり、資料から考えたことを共有しやすいようにJamboardを活用する。</p> <p>【思-①】 遣唐使船の様子から、問いを見出し、学習問題として表現している。</p>
<p>③</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>聖徳太子はどのように国づくりをしたのだろうか。</p> </div> <p>○聖徳太子について調べ、どのように国づくりを目指したのかを調べる。</p>	<p>・聖徳太子の業績とその業績がどのように国づくりにつながるか観点を分けてまとめられるようにする。</p> <p>【知-①】 聖徳太子の業績を資料で調べて必要な情報を読み取り、天皇中心の国づくりを目指したことを理解している。</p>
<p>④</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>中大兄皇子や中臣鎌足はどのような国づくりをめざしたのだろうか。</p> </div> <p>○中大兄皇子や中臣鎌足らのはたらきについて調べ、聖徳太子の死後どのように受け継がれていったのかを考える。</p>	<p>・聖徳太子の死後、蘇我氏が天皇よりも大きな力をもったことをおさえ、太子の考えを継いだ二人の業績に着目できるようにする。</p> <p>【知-①】 中大兄皇子と中臣鎌足が蘇我氏を倒し、天皇中心の国を目指した聖徳太子の思いが受け継がれていったことを理解している。</p>
<p>⑤</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>都や地方の人々はどのような暮らしをしていたのだろうか。</p> </div> <p>○木簡や平城京の復元模型図、食事の例、地方から都へ献上品が届いている地図などの資料から、人々の暮らしについて調べ、天皇中心の国づくりの様子について考える。</p>	<p>・木簡や地図の資料に着目させ、日本全国から特産品が都に集まったことをおさえる。</p> <p>・食事を比べることで身分の差が出始め、天皇や貴族たちに権力が集中してきたことから天皇中心の国づくりが進んだことに気づけるようにする。</p> <p>【知-①】 都の貴族や地方の庶民の暮らしの様子について資料から必要な情報を集め、天皇中心の国づくりが進んできたことを理解する。</p>

⑥	<p>多くの人々の苦勞を経て、なぜ聖武天皇は大仏を完成させることができたのだろう。</p> <p>○大仏づくりの様子想像図や大仏の材料の産出地、聖武天皇が出した命令文などの資料を活用して、国家的な大事業として東大寺の大仏が造営されたことや、全国各地に国分寺が建立されたことを調べ、国づくりの様子について考える。</p>	<p>・天皇の力により、全国各地から大仏づくりに必要な材料を集めることができたことから、天皇中心の国づくりがすすんだことをおさえる。</p> <p>【思-②】 聖武天皇が大仏や国分寺をつくり、仏教のちからを借りて混乱した世の中を治め、天皇中心の国づくりが広く全国に及んだことについて考えたり、調べたりしたことを比較関連付け、その意味を考え、表現している。</p>
⑦	<p>日本は外国とどのように関わっていたのだろう。</p> <p>○大仏完成の頃の日本と外国との関わりについて調べ、その当時、日本が大陸の国々とのように交流していたのかを考える。</p>	<p>・既習事項をふりかえりながら、大陸から進んだ政治制度を取り入れたことに気づけるようにする。</p> <p>・仏教の考えを取り入れて国づくりをしてきたことをふりかえり、仏教を通して文化も日本に入ってきたことに気づけるようにする。</p> <p>【知-①】 大仏完成のころの日本と大陸の交流が、仏教や文化を通して行われていたことを理解している。</p>
⑧	<p>日本は外国から学びながら、どのように国づくりを進めたのだろう。</p> <p>○これまで解決してきた学習問題のまとめを読み、単元を貫く学習問題について自分の考</p>	<p>・全体で既習事項をふりかえりながら、単元を貫く学習問題への自分の考えをまとめるための資料を得られるようにする。</p>

	えをまとめる。	<p>【知-②】 調べたことを文や関係図にしてまとめ、大陸から進んだ文化を取り入れながら、天皇中心の国づくりが進んだことを理解している。</p> <p>【思-②】 今までの学習をふり返り、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営を関連づけたり、総合づけたりして考え、適切に表現している。</p>
--	---------	---

7. 本時(1/8)

本時のねらい:

想像図や表、航路図、教科書の文章から、大変な苦勞をしてまで遣唐使船を出した理由を 理解し、大陸から学んだ国づくりに関連した学習問題を立てることができる。

学習活動と予想される児童の反応(・)	支援(○)と評価
<div data-bbox="209 495 395 562" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">課題の設定</div> <p>1. 想像図から気づいたことを出し合い、本時からの学習のきっかけとなる課題をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● あれた海を進んでいる。</li> <li>● 奥の船は壊れかけている。</li> <li>● なぜ、こんなことをしているのかな。</li> <li>● この船は何をしに、どこに行ってるのかな。</li> </ul> <div data-bbox="209 869 874 976" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料を読み取って気づいたことから、学習問題をつくろう。</div> <div data-bbox="209 1016 389 1084" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情報の収集</div> <p>2. 資料から気がついたことを付箋に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 奥の船は、拡大してみるといろいろなものが流されてしまって人もいないから、沈んでいる。それだけ危ない航海だと分かった。</li> <li>● 表を見ると20回中、11回が遭難したり、天候や責任者の発案で中心したりしていて、とてつもない努力をしている。</li> <li>● 2000人以上の人が送られている。</li> <li>● 200年以上の長い間行われた。</li> </ul> <div data-bbox="209 1554 580 1621" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情報の比較・整理・分析</div> <p>3. 資料から気づいたことを書いた付箋を見比べ、整理して学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● なぜ、こんな大変な思いをしてまで中国大陆を目指したのだろうか。</li> <li>● 大変な思いをして中国にいき、どのようなことが国づくりに生かされたのだろうか。</li> </ul>	<p>○渡来人の力を借り始めたことにふれ、大陸を行き来して知識や技術を導入しようとした流れを抑えながら遣唐使の説明をする。</p> <p>○50インチテレビで掲示し、自由に気づいたことを発言できるようにする。</p> <p>○遣唐使について説明し、どのような船か、大まかに分かるようにする。</p> <p>資料:遣唐使船想像図 遣唐使船の表と航路図 教科書の文書資料(一部抜粋)</p> <p>○同じグループの友達と気づいたことを受信の手間なく、リアルタイムで共有できるように、Jamboardを活用して、資料から読み取れることを書く。</p> <p>○自分の名前を書き、全員が付箋を貼ってから話し合いをするように伝える。</p> <p>○ノートに自分の考えを書き、整理してからJamboardにふせんを貼るようにする。</p> <div data-bbox="900 1805 1490 1973" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>【思考・判断・表現】 遣唐使船について調べたことから、問いを見出し、学習問題として表現している。 (Jamboard・ノート)</p> </div>

まとめ・表現

4. 各グループでできた学習問題を発表する。

次回の課題の設定

5. 次時の準備して、見通しをもつ

○次の時間に扱うJamboardに付箋を貼り付けて準備をする。